



日野中だより 6号
発行：令和3年8月9日（月）
文責：佐世保市立日野中学校
校長 池田 美祐紀

校訓



学校教育目標

心豊かで活力に満ちた生徒の育成

学びあい 認めあい 支えあい

8月9日 県民祈りの日 一平和集会 校長講話より



今日は、長崎に原爆が投下されてから76年目の8月9日です。
みなさんは、原爆が投下された時刻を正確に言えますか？ 言えると言う人、手を挙げてみてください。教室の先生方、人数を確認してください。

長崎は、今日8月9日を、広島は8月6日を「祈りの日」として登校日としています。みなさんも小学生の頃から、この祈りの日には平和集会に参加し、もう何年も平和や原爆について学習し、考えてきています。ところが、原爆投下の時刻を正確に言える人は、全体の約3割とされています。みなさんのクラスでは、どのくらいの人の手が挙がったでしょうか。

私は、仕事で時々長崎に行きます。現在の長崎の街は、76年前に原爆が投下された同じ場所とは思えないほど、たくさんの人や車が行き交い、日差しが車のミラーに反射し、キラキラ輝いています。このような光景の中、太陽がじりじりと照りつけ、蝉の声が響き渡る夏の日、あまりの暑さに目を細めながら、あの日もこんな暑い日だったのだろうと考えずにはいられません。長崎、広島の人々は、あのようなことが起こるとは誰も想像だにせず、いつもと変わらない日常を送っていたはずです。

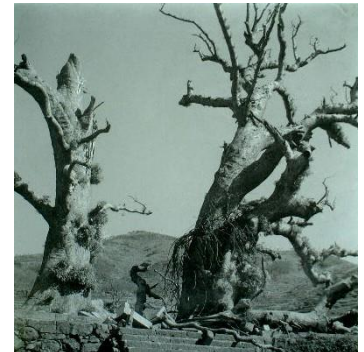
目を閉じて聴いてください。

幾千の人の手足がふきとび
腸わたが流れ出て
人の体にうじ虫がわいた
息ある者は肉親をさがし求めて
死がいを見つけ そして焼いた
人間を焼く煙が立ち上り
罪なき人の血が流れて 浦上川を赤く染めた

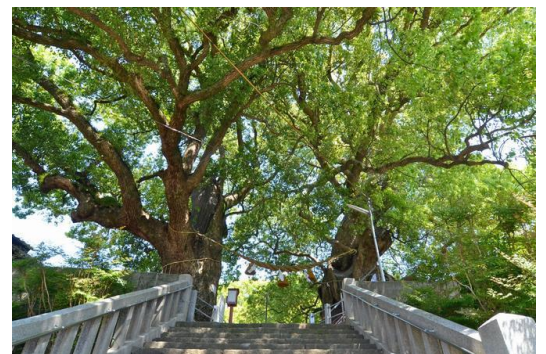
ケロイドだけを残して やっと戦争が終わった

だけど・・・
父も母も もういない
兄も妹ももどってはこない

人は忘れやすく 弱いものだから
あやまちを繰り返す
だけど・・・



被爆した2本のクスノキ
幹が焼かれ、葉も燃え尽きました。



現在のクスノキ
生まれ変わった2本のクスノキは、青々と葉を茂らせています。

このことだけは忘れてはならない
このことだけは繰り返してはならない
どんなことがあっても・・・

これは、1945年8月9日午前11時2分、17歳の時に原子爆弾により家族を失い、自らも大怪我を負った女性が綴った詩です。2年前の平和宣言の中で、田上長崎市長も朗読をされました。

こんなに悲惨な状況があったのに、そして今でも原爆の後遺症に悩まされ、苦しんでいる人が大勢おられ、この過ちを二度と繰り返してはならないという被爆者の方々の強い願いがあるというのに、世界には今、核兵器が1万3080発もあるのです。核を保有している国は9カ国、実践使用可能な数はいまだに増えているといいます。

76年の年月を経て、実際に戦争を経験された方の平均年齢は84歳近くになり、被爆体験を語り継ぐ人が少なくなってきました。

しかし、長崎には体験者から話を聞き取り、すでに語り継ぐ活動を始めている頼もしい人たちがいます。私たちにもできることがあると思います。小さなことでも、私たちが本気で考えるならば、それは大きな力になっていくと思います。

長崎にある平和祈念像を思い出してください。天を指す右手は「原爆の脅威（長崎の過去）」を、水平に伸ばした左手は「平和（長崎の未来）」を示し、軽く閉じた瞼は戦争犠牲者の冥福を祈っています。

今日の黙祷では原爆で亡くなられた方に心から哀悼の意を捧げ、平和のためにできることをみんなで考えましょう。

令和3年8月9日



残暑お見舞い申し上げます。



毎日、暑い日が続いていますが、生徒のみなさん、保護者の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。昨日から今朝までの台風の被害はなかったでしょうか。夏休みも半分が過ぎました。夏休み後半も健康に気を付けてお過ごしください。



<注意>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、引き続き対応をお願いします。（マスクの着用・手洗い・消毒・換気・3密を避けるなど）
- 交通事故・海の事故・山（登山）の事故、電線の事故にも十分に気を付けてください。夏休み中の海の事故については、大人や高校生でも被害に遭われています。くれぐれも気を付けてくださいね。

また元気にお会いしましょう。

池田 美祐紀